



2025年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月2日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>
代表者 （役職名）代表取締役 社長執行役員 （氏名）高宮 満
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 経理・財務担当 （氏名）富田 たくみ TEL 03-3486-3331
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年11月期第3四半期の連結業績（2024年12月1日～2025年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年11月期第3四半期	383,424	6.2	27,062	△9.2	29,218	△9.2	26,055	31.9
2024年11月期第3四半期	360,911	7.4	29,815	123.5	32,182	113.4	19,756	78.3

（注）包括利益 2025年11月期第3四半期 26,953百万円（△1.4％） 2024年11月期第3四半期 27,335百万円（79.8％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第3四半期	187.90	—
2024年11月期第3四半期	142.13	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年11月期第3四半期	468,918	338,854	66.1
2024年11月期	462,372	331,638	65.4

（参考）自己資本 2025年11月期第3四半期 309,784百万円 2024年11月期 302,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	23.00	—	31.00	54.00
2025年11月期	—	32.00	—		
2025年11月期（予想）				32.00	64.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2025年11月期（予想）の年間配当金額には、キューピー マヨネーズ発売100周年記念配当10円を含んでいます。

3. 2025年11月期の連結業績予想（2024年12月1日～2025年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	512,000	5.8	34,500	0.5	36,600	△0.7	29,200	36.3	210.95

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年11月期 3 Q	141,500,000 株	2024年11月期	141,500,000 株
2025年11月期 3 Q	4,416,830 株	2024年11月期	2,498,321 株
2025年11月期 3 Q	138,664,857 株	2024年11月期 3 Q	139,002,547 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営環境は、各国の政策を巡る不確実性や地政学リスク、為替の変動などにより、依然として不安定な状況が続きました。国内では、所得環境の改善やインバウンド消費の回復基調がみられた一方、食品価格の上昇や消費者の節約志向の高まりを受け、市場環境は厳しさを増しております。また、高病原性鳥インフルエンザや猛暑による供給減少、生産コストの上昇により鶏卵価格が高止まりし、天候不順による野菜相場の変動も収益に影響を及ぼしました。

このような環境において、海外では中国・アジアパシフィック・米州を中心に「現地生産・現地販売」を基本方針とし、新工場の稼働による供給能力強化と生産効率化を進めました。さらに、KEWPIEブランドの認知度向上や現地料理と融合したメニュー提案型プロモーションを展開し、需要拡大に注力しました。

国内では、多様化するニーズに対応した高付加価値商品の展開を強化するとともに、価格改定の浸透やロボット導入による生産自動化を進め、収益性・生産性の向上に取り組みました。また、中長期的な成長を見据え、人的資本やサステナビリティ、新規領域への投資を計画的に実施しました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外の継続的な成長に加え、国内におけるタマゴ商品の販売回復やカット野菜の需要拡大・単価上昇により増収となりました。営業利益は、海外での販売増や国内での価格改定効果があったものの、主原料高騰の長期化や物流コスト上昇の影響を受け減益となりました。経常利益は営業利益の減少に伴い減益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、工場跡地売却による特別利益の増加により増益となりました。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
売上高	360,911	383,424	22,513	6.2%
営業利益	29,815	27,062	△2,753	△9.2%
経常利益	32,182	29,218	△2,964	△9.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19,756	26,055	6,299	31.9%

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	140,597	143,976	3,379	2.4%
業務用	125,772	136,995	11,223	8.9%
海外	67,864	73,567	5,703	8.4%
フルーツ ソリューション	13,191	13,393	202	1.5%
ファインケミカル	8,595	8,973	378	4.4%
共通	4,890	6,517	1,627	33.3%
合 計	360,911	383,424	22,513	6.2%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	12,634	9,777	△2,857	△22.6%
業務用	9,909	8,209	△1,700	△17.2%
海外	9,753	11,070	1,317	13.5%
フルーツ ソリューション	275	633	358	130.2%
ファインケミカル	344	412	68	19.8%
共通	971	1,116	145	14.9%
全社費用	△4,072	△4,157	△85	—
合 計	29,815	27,062	△2,753	△9.2%

<市販用>

- ・調味料・調理食品の販売数量増およびカット野菜の単価上昇により増収
- ・鶏卵、野菜相場高騰などによる原材料高により減益

<業務用>

- ・価格改定による単価上昇とタマゴ商品販売数量増により増収
- ・調味料、タマゴの価格改定効果があったものの、鶏卵相場高騰に伴う原材料高影響を受け減益

<海外>

- ・アジアパシフィック・米州の販売が堅調に推移し増収
- ・アジアパシフィックを中心とした売上増や中国の生販効率化取組みにより増益

<フルーツ ソリューション>

- ・家庭用ジャム・スプレッドと産業用フルーツ加工品が好調に推移し増収増益

<ファインケミカル>

- ・医薬原料の販売数量減も、通信販売が好調に推移し増収増益

<共通>

- ・外部向け機械販売および原料販売増加により増収増益

（2）財政状態に関する説明

◇ 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、4,689億18百万円と前連結会計年度末に比べ65億46百万円増加
主に有価証券、建物及び構築物、投資その他の資産のその他に含まれる長期定期預金の増加、現金及び預金の減少による
- ・負債は、1,300億64百万円と前連結会計年度末に比べ6億70百万円減少
主に流動負債のその他に含まれる未払金、社債の減少、賞与引当金、流動負債のその他に含まれる1年内償還社債の増加による
- ・純資産は、3,388億54百万円と前連結会計年度末に比べ72億16百万円増加
主に利益剰余金の増加、自己株式の取得による

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を勘案し、2025年1月9日に公表しました2025年11月期の連結業績予想は、本日（2025年10月2日）発表のとおり修正を行っています。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、同日発表の「2025年11月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。修正計画の詳細については、「2025年11月期 第3四半期決算補足説明資料」に記載しています。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,139	63,395
受取手形及び売掛金	71,782	76,740
有価証券	10,000	16,500
商品及び製品	25,172	24,775
仕掛品	1,948	1,602
原材料及び貯蔵品	12,741	14,503
その他	4,529	8,934
貸倒引当金	△588	△683
流動資産合計	203,727	205,768
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	159,972	169,171
減価償却累計額	△100,477	△102,817
建物及び構築物（純額）	59,494	66,354
機械装置及び運搬具	153,476	158,634
減価償却累計額	△114,753	△119,115
機械装置及び運搬具（純額）	38,722	39,518
土地	29,475	29,431
建設仮勘定	14,266	2,709
その他	19,210	20,675
減価償却累計額	△13,772	△14,420
その他（純額）	5,438	6,254
有形固定資産合計	147,398	144,268
無形固定資産		
のれん	-	26
その他	19,003	17,860
無形固定資産合計	19,003	17,887
投資その他の資産		
投資有価証券	51,178	52,282
退職給付に係る資産	34,584	35,541
その他	6,570	13,258
貸倒引当金	△90	△88
投資その他の資産合計	92,243	100,994
固定資産合計	258,645	263,149
資産合計	462,372	468,918

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,777	46,621
短期借入金	2,271	6,896
未払法人税等	5,425	8,075
賞与引当金	1,883	5,317
その他の引当金	121	104
その他	36,760	40,567
流動負債合計	91,239	107,583
固定負債		
社債	10,000	-
長期借入金	5,500	-
退職給付に係る負債	2,004	1,981
資産除去債務	273	171
その他	21,717	20,328
固定負債合計	39,494	22,481
負債合計	130,734	130,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	28,412	27,650
利益剰余金	224,209	241,507
自己株式	△5,847	△13,556
株主資本合計	270,878	279,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,501	13,326
繰延ヘッジ損益	△9	21
為替換算調整勘定	6,454	6,136
退職給付に係る調整累計額	11,466	10,594
その他の包括利益累計額合計	31,413	30,078
非支配株主持分	29,346	29,070
純資産合計	331,638	338,854
負債純資産合計	462,372	468,918

（2）四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年12月1日 至 2024年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年12月1日 至 2025年8月31日）
売上高	360,911	383,424
売上原価	249,341	270,937
売上総利益	111,569	112,487
販売費及び一般管理費	81,754	85,424
営業利益	29,815	27,062
営業外収益		
受取利息	525	472
受取配当金	538	651
持分法による投資利益	1,238	1,278
その他	741	803
営業外収益合計	3,044	3,206
営業外費用		
支払利息	215	202
株式交換関連費用	—	220
支払手数料	11	155
その他	450	472
営業外費用合計	676	1,050
経常利益	32,182	29,218
特別利益		
固定資産売却益	53	12,073
関係会社株式売却益	145	—
その他	14	349
特別利益合計	213	12,423
特別損失		
減損損失	467	607
固定資産除却損	396	401
関係会社株式評価損	300	—
その他	194	524
特別損失合計	1,358	1,533
税金等調整前四半期純利益	31,038	40,108
法人税等	9,096	11,522
四半期純利益	21,941	28,585
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,184	2,530
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,756	26,055

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年12月1日 至 2024年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年12月1日 至 2025年8月31日）
四半期純利益	21,941	28,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,180	△183
繰延ヘッジ損益	△10	27
為替換算調整勘定	4,268	△396
退職給付に係る調整額	△220	△898
持分法適用会社に対する持分相当額	175	△181
その他の包括利益合計	5,393	△1,632
四半期包括利益	27,335	26,953
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,264	24,720
非支配株主に係る四半期包括利益	3,070	2,232

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日）を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年7月3日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において、自己株式1,927,000株の取得を行いました。この結果、自己株式が7,728百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が13,556百万円となっています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）およびのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
減価償却費	13,102百万円	13,557百万円
のれんの償却額	136	2

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年12月1日 至 2024年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位：百万円)

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	140,597	125,772	67,864	13,191	8,595	4,890	360,911	—	360,911
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	140,597	125,772	67,864	13,191	8,595	4,890	360,911	—	360,911
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	607	3,279	—	232	285	8,555	12,960	△12,960	—
計	141,204	129,052	67,864	13,424	8,880	13,446	373,872	△12,960	360,911
セグメント利益	12,634	9,909	9,753	275	344	971	33,888	△4,072	29,815

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,072百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2024年12月1日 至 2025年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報及び収益の分解情報

(単位：百万円)

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	143,976	136,995	73,567	13,393	8,973	6,517	383,424	—	383,424
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	143,976	136,995	73,567	13,393	8,973	6,517	383,424	—	383,424
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	594	3,080	—	280	322	9,339	13,616	△13,616	—
計	144,571	140,075	73,567	13,673	9,295	15,857	397,041	△13,616	383,424
セグメント利益	9,777	8,209	11,070	633	412	1,116	31,220	△4,157	27,062

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,157百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、各セグメント損益の実態をより適切に反映させるため、全社費用の配賦基準を変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の配賦基準に基づいて作成しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。